

かめやま教育通信

第15回



JR亀山駅前への移転拡充による新図書館整備の基本的な方針や目標を示す「亀山市立図書館整備基本計画」を策定しました

この基本計画は、昨年7月に策定しました「図書館整備基本構想」をうけて、昨年10月から策定作業を進めてきました。策定にあたり、公開型・訪問型あわせて12回の市民ワークショップ、団体等との意見交換会、意見箱などのさまざまな方法で、市民の皆さんの図書館への思いをいただきました。

それを軸に市議会や社会教育関係の委員会などからの意見をいただき、図書館整備推進委員会や教育委員会で議論を重ね策定したものです(平成30年5月)。

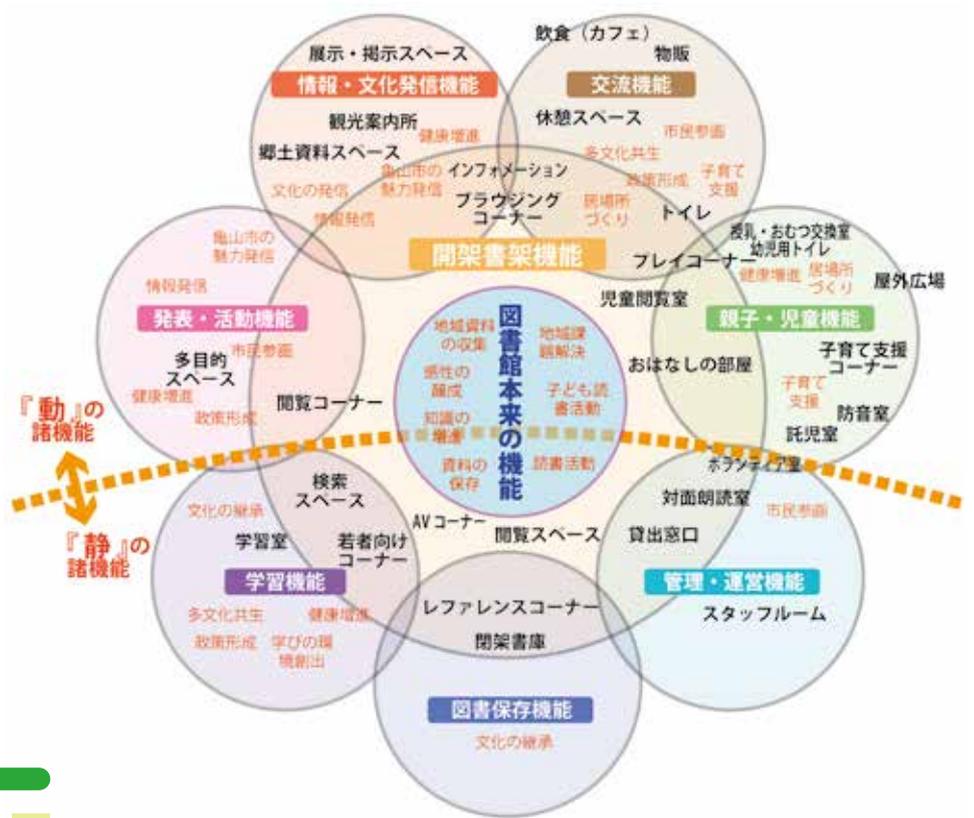


新図書館の基本理念は、「学びの場からつながる場へ」

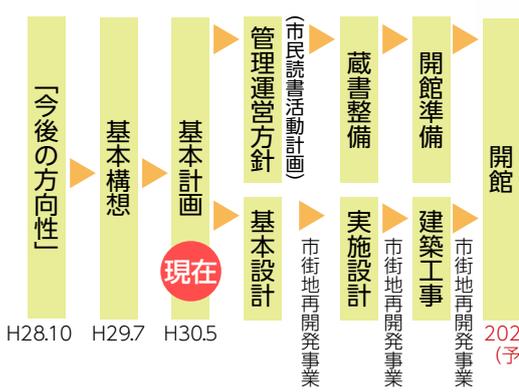
基本計画で示した新図書館は、その基本理念である「学びの場からつながる場へ」が表すように、図書館本来の機能に、これに関連する機能を一体化させて、学びや地域の課題解決、情報発信といった学びと交流拠点としての展開を図る「多機能性」が特色となるものです。

基本計画は、皆さんが思い描く図書館の理想像からスタートし、図書館にはどのような機能が求められ、そこで何を行っていききたいのか、そのためにはどんな場が必要と考えられるのかを積み上げてまとめていく手法をとりました。この取り組み自体が新しい図書館整備を進めていく上で重要であると考えています。

「多機能性」図書館のイメージ



2022年の開館を目指して!



今後は、基本計画で示した図書館像の実現に向けて、引き続き市民ワークショップなどを積み重ねながら、市街地再開発事業の関係機関等と連携を図り、建築基本設計との整合を図っていきます。また、開館時間や地域での読書拠点の確立など、管理運営方法等のさまざまな課題検討を進めていきます。新図書館の開館は、2022年を目指しています。一緒に日本一すてきな図書館を創っていきましょう!

問合先 教育委員会生涯学習課社会教育グループ(☎84-5057)